

トリアスがオープンした1999年までに製造された国内外の名車が大集合！
第3回クラシックカー フェスティバル イン トリアス開催！



TORIUS to BIZ Event Report vol.11



11月24日(日)、3回目を迎えた「クラシックカー フェスティバル イン トリアス」が開催されました!トリアスがオープンした、1999年までに製造された国内外の車を集め、九州をメインに、全国のクラシックカーマニアが、早朝からここトリアスWestゾーン駐車場へ集結!中国、四国、関西、一番遠方は福井県からの参戦です。

このイベントを主催している実行委員会の事務局長である、春木 英利さんにお話を伺いました。

20年の歴史を誇る、クラシックカーの祭典

「もともと、北九州の門司でイベントをやらせていただいていたので、スタートして20年くらいになります。福岡ではマリノアで実施していましたが、閉鎖されましたので、トリアスでどうぞと言っていたら、今回で3回目になります。イベントは、春と秋の年2回行っています。こういうイベントを始めたのは、自分が車好きだったことありますが、旧車のイベントというと、暴走族と一緒にされがちですが、そうではない。こういう趣味もあるんだって伝えられた。門司港だけに、レトロな街並みにレトロな車でという形で始めまして、各所に声をかけ、北九州市役所と一緒に実施してきたので、だんだんイメージも変わってきました。

北九州は暴走族のイメージが強かったですが、一般の方が事前に申し込み、さらに、審査も徹底しています。こういうことが根付いていけば、若い人たちも、車を好きになって乗ってくれるようになるかな?とも思っています。今回のイベントには、告知にもあったように、トリアスオープンの1999年までに製造された車が集まっており、全部でジャスト100台を出展しています。個人の出展がメインですが、協賛ショップの車もあり、ワーゲンなどがずらっと並ぶ姿はなかなかのものです。キッチンカーも北九州から来てくれており、スワップミート(フリーマーケット)のコーナーも。参加してくれる皆さんが、楽しんでくれるようなイベントに、今後もしていきたいと思っています。」



MG B(英車)



フォルクスワーゲン(ビートル)

春木さんは、門司出身ですが、山口でラジオのパーソナリティを長くされており、下関あたりではなかなかの有名人。現在は、地元でお店を開きたいと、門司港にて「Bar & Cafe ノスタルチア」を営業しています。カフェバーオーナー以外にも、MCのお仕事や、車のイベントの企画運営をしているそうです。地域の活性化も含め、このクラシックカーイベントは、春木さんのライフワークにもなっています。

出展されている車は、どれもオーナーさんが手をかけて、大切にしているのが分かるものばかり。数名の方に少しお話を聞いてみました。

オーナーの愛情が宿る名車たち

最初にご紹介いただいたのは、トヨペットの初代クラウン!「トヨタのアイデンティティ」とか、「いつかはクラウン」なんて言われていますが、今のスタイルとは比較できない、重厚感



トヨペット 初代クラウン

がなかなかのものです。サイドのドアが観音開きで開閉できるところが、和服のご婦人が多かった時代に、親切な設計だなと思いました。

次の可愛いフォルムの車は、スバルR2GL。こちらは販売当初からの姿そのまま、手を入れてないノンレストア車。オーナーさんが、ニコニコ車を見つめる姿が、大切にされているんだと感じる1台でした。

※レストア (restore) とは、英語で「元通りにする」「復活させる」という意味で、主に旧車を修理・整備して新品に近い状態に復元させること

会場全体を見渡してみると、他にも、日産の初代シルビア、フェアレディZ 432など、興味をそそる車がいろいろ並んでいます。



トヨタ 初代クラウン



スバルR2 GL



トヨタ カローラレビンGTアベックス

一番遠くからエントリーされた方は、門司のイベントにも常連の方で、福井から自走で来られたそうです。もちろん、普段使いもされており、4年落ちの車を購入して、34年間大切に乘っている、赤いトヨタ カローラレビンGTアベックス。走行距離21万キロ、とても大切に乘られている印象で、マニアなら知るところのあの「ハチロク」と同じ型です。

※車好きによく知られている漫画原作の「頭文字D(イニシャルD)」に登場する兄弟車、トヨタ スプリンターテノAE86型と同型車種

ちょうど、お話を伺っていたところに、中高生くらいと小学生の3人組が「お!すごいハチロクやん!」と声をかけてきました。写真を撮影させてもらってご満悦。どんどん若い車好きが増えてくれたらいいですね。

主催者の春木さんとオーナーさんで、レビンを挟んでハイポーズ!オーナーさんからは、できれば今後もトリアスにも来たいとひと言いただきました。



日産 初代シルビア



日産フェアレディZ432



驚いたのは、1958年のポルシェ356 A。現代のポルシェのイメージとは、まったく違います。このスタイルもすごく味があり、素敵な車です。丸目のヘッドライトの部分が高まっているところなどは、現代のポルシェを彷彿とさせる部分もあり、どちらも捨てるがたいと思わせるスタイルでした。クラシックカーというよりは、レーシングスタイルの車もあり、ボンネットを開けてメカ部分を見学するのもなかなか面白いものです。可愛いイメージがありつつ、走り屋的な雰囲気もあるスターレットは、完全にレーシング仕様で、思わず「カッコイイ」とつぶやいてしまいました。



ポルシェ356A

2台の車のオーナーさんにも少しお話が聞けました。1台は1968年式 ダットサンフェアレディ SRL311 平成元年にアメリカから逆輸入された車です。そして、お隣の1969年式 トヨタスポーツ800 別名ヨタハチです。いずれも味のあるフォルムで、今でもなかなかのスピードで走ってくれそうな韋駄天感が溢れています。2台の車をまだまだ長く乗り続けたいそうです。



ダットサンフェアレディ



トヨタスポーツ800&フェアレディ



トヨタスポーツ800



スワップミート&キッチンカー

キッチンカーのコーナーや、スワップミートのテントにも、たくさんの方が来られていたようです。お天気も良く、とても素敵なカーフェスティバルになりました。

これからも、ここで旧車のイベントを続けられたら、とおっしゃっていた春木さん。トリアスがクラシックカーの聖地になるといいですね。



空も青くボンネットがキラキラしています



多くの旧車好きで賑わっています



マツサン フルーバード



ポルシェ356A



いすゞベレットGTR



マツダポーターバン



日産 フェアレディZ



トヨタカリーナ



トヨタスターレット



トヨタカラーレビンSR